

## レッツ工事台帳V.8 仕訳伝票転記 訂正表(汎用)

「レッツ工事台帳」をご利用くださいまして、誠にありがとうございます。

本マニュアルにリビジョンアップにより一部訂正・追加がございます。次のとおり、訂正・追加を致します。

※2016年4月13日時点の全ての本マニュアル追加・変更事項を記載致しております。「◀」が今回変更点です。

ページ	場所	誤	正
全般		弥生会計04/06/07 弥生給与06/07	弥生会計04/06/07/08/09/10/11/12/13/14/15/16 弥生給与06/07/08/09/10/11/12/13/14/15/16 ※操作方法・出力形式等は弥生会計07又は弥生給与07と同じですので、当マニュアルの弥生会計07・弥生給与07の項をご参照下さい。
全般		会計王2003/5/7/8 会計王 PRO/5PRO/7PRO/8PRO	会計王2003/5/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17 会計王 PRO/5PRO/7PRO/8PRO/9PRO/10PRO/11PRO/12PRO/13PRO/14PRO/15PRO/16PRO/17PRO ※操作方法・出力形式等は会計王8又は会計王8PROと同じですので、当マニュアルの会計王8・会計王8PROの項をご参照下さい。
全般		勘定奉行2000・勘定奉行21・ 建設奉行21・勘定奉行[個別 原価管理編]	勘定奉行21・建設奉行21・勘定奉行[個別原価管理編]・勘定奉行i10・勘定奉行i10[個別原価管理編]・勘定奉行i10[建設業編] ※勘定奉行i10・勘定奉行i10[個別原価管理編]・勘定奉行i10[建設業編]の出力内容が「OBC受入形式」で読み込みできるようになりました。 ※勘定奉行[建設業編]の操作方法・出力形式等は勘定奉行[個別原価管理編]と同じですので、当マニュアルの勘定奉行[個別原価管理編]の項をご参照下さい。
全般		給与奉行21	給与奉行i10
9	脚注	(記載追加)	リビジョンアップにより、建設奉行21、及び勘定奉行21[個別原価管理編]へ「出庫」仕入先が転記可能になりました。 ※設定方法は、本誌P1,2をご参照下さい。
11	税区分変換テーブル	(記載追加)	リビジョンアップにより「非売仕」「共売仕」を追加しました。 「非売仕」非課税売上分課税仕入 「共売仕」共通売上分課税仕入 ※平成23年度税制改正(95%ルールの見直し)に伴い、税区分を分ける場合に使います ※この税区分はレッツ工事台帳の中では「課税」と同じに扱います ※設定方法は、本誌P4をご参照下さい
		(記載追加)	リビジョンアップにより、消費税率毎に税区分変換テーブルが設定できるようになりました。 各画面には予め税区分が設定済です。 設定済の税区分は変更可能です。
14	脚注	(記載追加)	リビジョンアップにより、工事受注書出条件に「受注日」の範囲指定条件・「 <input type="checkbox"/> 完成工事を未成工事として出力する」オプションが追加されました。 他の集計表同様に受注日の範囲指定で絞込みが可能です。 「 <input type="checkbox"/> 完成工事を未成工事として出力する」オプションは、運用上工事を完成で登録する場合にONにして下さい。
15	《勘定奉行》[個別原価管理編]での読込操作	(記載追加)	勘定奉行i/i8/i10[個別原価管理編]で読み込む場合 [随時処理]→[汎用データ受入]→[マスターデータ受入]→[プロジェクトデータ受入]を開き、受入データ形式で「OBC受入形式」を選択して読み込んで下さい。 勘定奉行i/i8/i10[建設業編]で読み込む場合 [随時処理]→[汎用データ受入]→[マスターデータ受入]→[工事データ受入]を開き、受入データ形式で「OBC受入形式」を選択して読み込んで下さい。
17	■「勘定奉行2000/21」の場合	(記載追加)	「勘定奉行i8/i10」の場合 受入データ形式で「OBC受入形式」を選択して読み込んで下さい。
	■「勘定奉行21[個別原価管理編]」の場合	(記載追加)	「勘定奉行i8/i10[個別原価管理編]/勘定奉行i8/i10[建設業編]」の場合 受入データ形式で「OBC受入形式」を選択して読み込んで下さい。
20	完成振替仕訳とは	レッツ工事台帳は、工事進行基準・部分完成基準での完成振替には対応しておりません。	工事進行基準・部分完成基準に対応しました。(Ver8.4R01以降) ※完成振替対象工事選択画面にて、未成工事も選択可能になりました。
22	[今回指定]	(記載追加)	<input type="checkbox"/> H22.4労基法対応版形式で出力 チェックがONの場合、平成22年4月改正後の形式で出力されます。OFFの場合は改正前の形式で出力されます。
25	勤怠項目設定		平成22年4月改正の労働基準法対応版の場合、「受入記号」KN01～KN16の記号を指定します。 ※給与計算へ転記画面の「転記設定について」ボタンをクリックすると改正後の追加項目について記載がございますのでご参照下さい。

27	■「給与奉行」の場合	(記載追加)	「給与奉行i/i8/i10」の場合 受入データ形式で「OBC受入形式」を選択して読み込んで下さい。
43・44・46・47	受入項目 「完成日」	「工事日程」→「竣工日(予定)」を出力、「竣工日(予定)」が空欄の場合は、「受注日」を出力	出力工事が「未成」の場合、「工事日程」→「竣工日(予定)」を出力、「竣工日(予定)」が空欄の場合は、「受注日」を出力。出力工事が「完成」の場合、「竣工日(実施)」、「竣工日(実施)」が空欄の場合、「進捗日」
	受入項目 「引渡日」	「工事日程」→「引渡日(予定)」を出力、「引渡日(予定)」が空欄の場合は、「受注日」を出力	出力工事が「未成」の場合、「工事日程」→「引渡日(予定)」を出力、「引渡日(予定)」が空欄の場合は、「受注日」を出力。出力工事が「完成」の場合、「引渡日(実施)」、「引渡日(実施)」が空欄の場合、「進捗日」
47	受入項目 「プロジェクト名」	桁数 30	桁数 50
		「工事名称」の左から30桁	「工事名称」の左から50桁

※次頁につきましては、リビジョンアップで追加になりました機能について解説しております。  
その他の操作方法につきましては、「仕訳伝票転記マニュアル」をご参照下さい。

## ●建設奉行21●

### 【概要】

建設奉行21との仕訳連動において、「出庫」仕入先が転記できるようになりました。

### 【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→「財務会計へ転記」を選びます。
- ②「設定」を開きます。
- ③「変換コード初期設定」→「□出庫仕入先も転記する」のチェックをONにします。
- ④「出庫詳細設定」をクリックし、変換コード等の設定を行います。

入力項目	桁数
部門コード	4
変換コード(主)	4
(補助)	4
業者コード	8
工種コード	4

※工種コードは□現場出力がONで入力可能

□業者出力・・・ONの場合、2行目にも業者コードを出力します。  
OFFの場合、空白を出力します。

- ⑤承認ボタンをクリックして登録します。  
次回転記時より「出庫」仕入先が転記されます。

### 《注意》

※一緒に書出される工事は「入庫」工事となります。  
仕入伝票(現場日報 仕入行)を転記します。  
支払伝票(現場日報 支払行)は転記されません。

※詳しい内容につきましては、画面上の注意ボタンを参照して下さい。

## ●勘定奉行21[個別原価管理編]●

### 【概要】

勘定奉行21[個別原価管理編]との仕訳連動において、「出庫」仕入先が転記できるようになりました。

### 【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→「財務会計へ転記」を選びます。
- ②「設定」を開きます。
- ③「変換コード初期設定」→「□出庫仕入先も転記する」のチェックをONにします。
- ④「出庫詳細設定」をクリックし、変換コード等の設定を行います。

(1行目・2行目)

入力項目	桁数
部門コード	4
変換コード(主)	4
(補助)	4

□プロジェクト出力・・・ONの場合、貸方に「入庫」工事を出力します。  
OFFの場合、空白を出力します。

- ⑤承認ボタンをクリックして登録します。  
次回転記時より「出庫」仕入先が転記されます。

### 《注意》

※一緒に書出される工事は「入庫」工事となります。  
仕入伝票(現場日報 仕入行)を転記します。  
支払伝票(現場日報 支払行)は転記されません。

※詳しい内容につきましては、画面上の注意ボタンを参照して下さい。

## ●完成振替●

### 【概要】

H21年4月より工事進行基準が義務化されることに伴い、部分完成基準・工事進行基準においても、完成振替処理が可能になりました。

### 【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→「財務会計へ転記」→「完成振替」を選びます。
- ②進捗区分[未成]を選択後、検索ボタンをクリックして下さい。
- ③未成工事が表示されるので、振替対象の工事を選択します。



### 【参考】

[全て解除]ボタンで[選]のチェックを一括で外すことが可能です。もう1度ボタンをクリックすると表示されている工事全ての[選]にチェックが入ります。

- ④[実行]ボタンをクリックして完成振替処理を完了させます。

### 【注意】

1. 完成日(進捗日)が必須入力項目になります。空欄の場合、完成振替できません。
2. 未成工事を完成振替した場合、完成振替済のチェックはONになりません。
3. 出力結果に変更はありません。

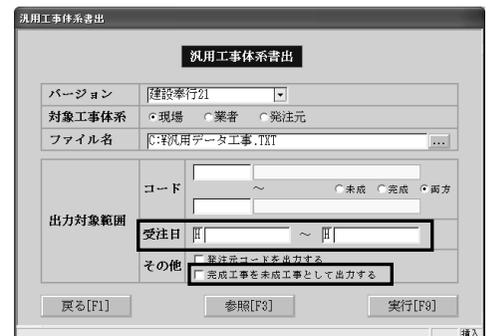
## ●汎用工事体系書出●

### 【概要】

建設奉行21・勘定奉行21[個別原価管理編]との連動において、汎用工事体系書出機能に、「受注日」の範囲指定・「□完成工事でも未成工事として出力する」オプションを追加しました。

### 【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→メニューバー「工事受注書出」をクリックします。
- ②右の画面が表示されますので、条件を指定し「実行」ボタンをクリックします。
- ③書出処理が完了すると、確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



### 【注意】

1. 受注日が空欄の場合、全期間の工事を書出します。
2. 「□完成工事を未成工事として出力する」がONの場合すべて未成工事として出力します。

## ●税区分変換テーブル●

### 【概要】

設定画面の税区分変換テーブルに「非売仕」「共売仕」を追加しました。

設定内容は会計ソフトによって異なります。

### 【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→「財務会計へ転記」→「設定」をクリックします。
- ②設定画面が表示されますので、「税区分変換テーブル」をクリックします。
- ③「非売仕」「共売仕」に初期値が設定されています。会計ソフト側の内容を確認して、必要な場合は修正します。



## ●消費税法改正に伴う変更点●

### 【概要】

消費税法改正に伴い、下記の内容を変更しました。

### ■税区分変換テーブル

設定画面の税区分変換テーブルが消費税率毎に設定できるようになりました。

消費税率の変更が適用された際に、設定の確認をお願いします。

### 【注意】

平成25年10月28日現在、新消費税対応バージョンが未発売の会計ソフトの場合は、税区分は空欄になっております。



● 勘定奉行 i/i8/i10 【個別原価管理編】 ●

【概要】

勘定奉行 i / i 8 / i 10 [個別原価管理編]へのデータの出力内容は、以下の通りです。

■ 工事受注書出

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	プロジェクト区切	1	文字	「*」を出力
2	プロジェクトコード	8	英数カナ	「工事コード」
3	プロジェクト名	50	文字	「工事名称」の左から50桁を出力
4	プロジェクト略称	16	文字	「工事略称」
5	用途区分	1	数字	「0」を出力（通常）
6	完成時の処理	1	数字	「0」を出力（製造原価）
7	売上高の計上方法	1	数字	「0」を出力（完成基準）
8	完成区分	1	数字	「進捗率」が100%の時は「1」を出力、100%未満の時は「0」を出力
9	進捗率	3	数字	「進捗率」
10	完成日	11	文字	「進捗率入力日」
11	予定期間(開始)	11	文字	「工事日程」→「着工日(予定)」を出力
12	予定期間(終了)	11	文字	「工事日程」→「竣工日(予定)」を出力
13	親プロジェクトコード	8	英数カナ	「グループ」
14	請負日付	11	文字	「請負金額」→「契約日付(1行目)」を出力
15	請負区分	1	数字	「0」を出力（売上）
16	税抜金額	13	数字	「請負金額」→「税抜金額」を出力
17	消費税額	13	数字	「請負金額」→「消費税」を出力
18	基準値	1	数字	「1」を出力（使用する）
19	取引先コード	8	英数カナ	「得意先コード」

●勘定奉行*i/i8/i10*【建設業編】●

【概要】

勘定奉行 *i / i 8 / i 10*【建設業編】へのデータの出力内容は、以下の通りです。

■工事受注書出

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	工事区切	1	文字	「*」を出力
2	工事コード	11	文字	「工事コード」
3	工事番号	11	文字	「工事コード」
4	工事名	100	文字	「工事名称」
5	工事略称	60	文字	「工事略称」
6	用途区分	1	数字	「0」を出力（通常）
7	工事場所	60	文字	「工事場所」
8	都道府県	4	文字	「工事経歴書」→「都道府県」
9	市区町村	12	文字	「工事経歴書」→「市区町村」
10	発注者コード	20	文字	「得意先コード」
11	配置技術者コード	10	文字	「工事経歴書」→「配置技術者コード」
12	技術者区分	1	数字	「工事経歴書」→「配置技術者」 0：主任技術者 1：監視技術者 2：該当しない
13	元請または下請	1	数字	「受注区分」 0：元請 1：下請
14	JV	1	数字	「工事経歴書」→「JV」 0：「単一企業」チェックOFF 1：「共同企業体」チェックON
15	完成時の処理	1	数字	「0」を出力（完成工事原価）
16	完成工事高の計上方法	1	数字	「0」を出力（完成基準）
17	完成区分	1	数字	「進捗率」が100%の時は「1」を出力、100%未満の時は「0」を出力
18	進捗率	3	数字	「進捗率」
19	完成日	11	文字	完成：「進捗」→「日付」を出力
20	予定期間(開始)	11	文字	「工事日程」→「着工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
21	予定期間(終了)	11	文字	「工事日程」→「竣工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
22	請負日付	11	文字	「請負金額」→「契約日付(1行目)」を出力
23	請負区分	1	数字	「0」を出力（売上）
24	税抜金額	13	数字	「請負金額」合計
25	消費税額	13	数字	「請負金額消費税」合計
26	取引先コード	13	文字	得意先マスター_変換コード(主)

■取引先（仕入先）

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	取引先コード	13	文字	「仕入先」のコード
2	取引先フリガナ	14	文字	「仕入先」のフリガナ
3	取引先名1	32	文字	「仕入先」の「名称1」左より32桁出力
4	取引先名2	24	文字	「仕入先」の「名称2」
5	インデックス	10	文字	「仕入先」のフリガナ
6	郵便番号	10	文字	「仕入先」の「郵便番号」
7	住所1	40	文字	「仕入先」の「住所1」
8	住所2	40	文字	「仕入先」の「住所2」
9	電話番号	16	文字	「仕入先」の「TEL」
10	FAX番号	16	文字	「仕入先」の「FAX」
11	メモ1	40	文字	「仕入先」の備考

■ 発注者（得意先）

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	発注者コード	13	文字	「得意先」コード
2	発注者フリガナ	14	文字	「得意先」のフリガナ
3	発注者名1	32	文字	「得意先」の「名称1」左より32桁出力
4	発注者名2	24	文字	「得意先」の「名称2」
5	インデックス	10	文字	「得意先」のフリガナ
6	郵便番号	10	文字	「得意先」の「郵便番号」
7	住所1	40	文字	「得意先」の「住所1」
8	住所2	40	文字	「得意先」の「住所2」
9	電話番号	16	文字	「得意先」の「TEL」
10	FAX番号	16	文字	「得意先」の「FAX」
11	メモ1	40	文字	「得意先」の備考